

③ 広報よこしば



昨年のパラリンピック郡大会から

芸術文化の振興

明をお願いし衆知をはかりたい。

実り豊かな自然環境の中でさまざまな公共施設が整備されつつある。そこで、目下土地買収を進めている坂田池周辺の公園計画の中で、青少年の求める野外音楽堂を設置してはどうか。

芸術文化の振興は、青少年の健全育成のためにも大切なことだ。野外音楽堂が坂田池周辺の開発と併せて実現できれば幸せである。しかし、愛好者の間での盛り上がりや、適切な指導者が得られるかなどの問題がある。

総合開発審議会

過日、総合開発審議会が開催されたが、審議内容を伺いた

い。会議では基本構想の策定内容について原案はコンサルタンに委託し作成中である。策定にあ

たっては、町民の意向にそった構想を樹立する必要がある。先般抽出によるアンケートをお願いしたが、アンケート結果をより適格に把握するため、出された課題を1つずつ審議会で討論いただいた。

ふるさと産品

町の活性化を計るための地域産業おこし策として、目玉的な商品特定できないか。

各県で1村1品運動がおこり、千葉県では59年頃にこの問題を取り上げた。町でもこれを受けて、商工観光の代表をはじめとする15名の委員で構成された協議会で検討している。梅を原料とした加工品について、県の工業試験場に検討願って試作中である。

強固な改善策を

騒音対策委員会で町長が力説

成田空港周辺の環境対策を話し合うため、空港公団の主催で開かれる「騒音対策委員会」が、関係15市町村の首長・議会議長等を集めて、7月10日成田市で開かれました。

席上、佐瀬町長は、横芝・松尾・連沼のブロックを代表して、次のように地域の実情を訴え、抜本的な地元対策を求めました。「朝な夕なに爆音と落下物の恐怖にさいなまれる騒音下住民の心情を思うと胸が痛む。また道一本で部落を分断し、地域の

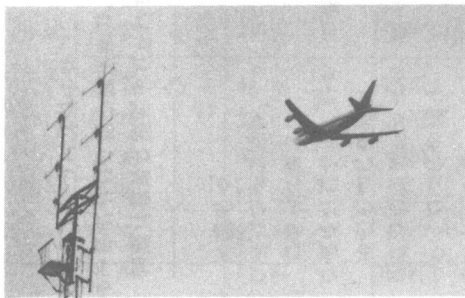
平和を乱した騒音区域の指定など空港にかかわる課題は多い。こうした中で、Bランが供用開始となると、地域全体が強い影響下に置かれることとなる。BCランを含めた完全空港の実情は欠くべからざる重要課題であり、急務であることは論を待たないが、そのために、住民に著しい被害が及ぶということは容認し難い。

落下物・騒音公害等の解消が伴ってこそその完全空港であり、一段と綿密な打開策を講ずべきだ。

また、成田や富里のように恵みの多い自治体とちがって、当地域にはデメリット要素ばかり

が目立ち、公団が唱える共存共栄にはほど遠いものがあるので、そうした地域の特性を十分に認識し、振興発展に結びつくような強固な施策を施してほしい。」これに対し委員長の松本副総裁は――

「落下物や騒音対策については、各国の航空会社や航空メーカーが科学技術の粋をつくりて研究改善に努めているが、一層心を引き締めて、その解消に全力を注いでいく。また、周辺の振興策については、県はじめ関係機関とも十分連携をとりながら、対策を考えていきたい。」と前向きな姿勢を示しました。



投票日 8月24日

農業委員会委員

一般選挙